

神奈川県横浜市を舞台に、夏の熱戦を制したのは!?



駒岡クラブ(神奈川)



六浦南ベガサス(神奈川)



鳥が丘(神奈川)



長津田第二クラブ(神奈川)



志木スワンススポーツ少年団(埼玉)



六浦南ベガサス(神奈川)

第32回横浜マリンボールカップ

期日/H23・8・13、14
会場/横浜市泉スポーツセンターほか

High school

Jr. High school

Mini basketball

Topics

横浜マリンボールカップは、今年で32回を数える歴史の長い大会。過去には、元日本代表の佐古賢一氏、加藤賢子氏、現姓・中慮や、現役選手のリンク栃木⑩田臥勇太、シャンソン⑩深野羅定咲、三菱重機⑭関根麻衣子らが出場し、ミニバスから大舞台へ巣立っていったという。今年も、神奈川県を中心とした関東フットボールの男女各18チームが出場し、交流を図った。対戦方式は、A、B、Cの3つのゾーンに分かれてそれぞれの優勝を決める。

男子決勝は熱戦が続出。Aゾーンは鳥が丘が51-44で明治に勝利。Bゾーンは⑤大矢のスティールから4Qに逆転した六浦南ベガサスが44-42でドルフィンズに土を付け、Cゾーンは4Qに猛追した駒岡が33-26で南部選抜に逆転勝利を収めた。

こうして、男子の優勝はすべて神奈川県横浜市のチームとなり、会場を大いに盛り上げた。

女子は、Aゾーンが六浦南ベガサスが75-39で宮の原に圧勝。Bゾーンはソ-

ンプレスが功を奏した志木スワンスが45-20で柿生フィリーズに勝利した。Cゾーンの長津田第二と千葉レッドローズの試合は最後までもつれたが、長津田第二⑨瀬合、④山下が決定力を見せ、39-34で勝利を収めた。

シュート、リバウンドで存在感を見せた六浦南⑤大塩



出場チーム	
男子	
Aゾーン	優勝 鳥が丘(神奈川) 2位 明治MB(栃木) 3位 太田南(群馬)、磯子(神奈川) 5位 ガリバージュニア(埼玉)、城北(神奈川)
Bゾーン	優勝 六浦南ベガサス(神奈川) 2位 ドルフィンズ(東京) 3位 平塚北(神奈川)、川崎柿生レッズ(神奈川) 5位 リトルファイブ幕張(千葉)、中沢(神奈川)
Cゾーン	優勝 駒岡(神奈川) 2位 南部選抜(神奈川) 3位 坂本(茨城)、浦賀(神奈川) 5位 洗沢(神奈川)、伊東(静岡)
女子	
Aゾーン	優勝 六浦南ベガサス(神奈川) 2位 宮の原(栃木) 3位 深川(東京)、都岡(神奈川) 5位 息栖(茨城)、フリーズ(神奈川)
Bゾーン	優勝 志木スワンス(埼玉) 2位 柿生フィリーズ(神奈川) 3位 清水町キングフィッシャーズ(静岡)、戸塚(神奈川) 5位 平塚北(神奈川)、鳥沢(山梨)
Cゾーン	優勝 長津田第二(神奈川) 2位 千葉レッドローズ(千葉) 3位 伊勢原(神奈川)、南部選抜(神奈川) 5位 桐生広沢女子(群馬)、千代(神奈川)

※スコアは次号にて掲載予定

資料提供/横浜市南部ミニバス連盟
写真提供/大阪フォトサービス

High school

Jr. High school

Mini basketball

Topics